

技術情報

J A全農やまぐち
TAC 営農推進課 (083-988-0681)
平成 28 年 8 月 3 日 発行
第 2 2 3 号

斑点米カメムシ類の防除対策

水稻の斑点米カメムシ類の発生が多くなっており、8月1日に病虫害防除所から技術資料が発表されました。

つきましては、下記及び防除所発表の「発生予察技術資料第7号(写)」を参考に、被害防止に万全が期されるようご指導をお願いします。

記

1 今後の予想

- (1) 発生地域 県内全域
- (2) 発生時期 出穂期以降
- (3) 発生量 やや多

2 防除対策

(1) 畦畔、休耕田の草刈り

出穂2週間前までに畦畔等の草刈りを実施し、それ以降もイネ科雑草の穂が出ないように管理してください。

(2) 薬剤防除

- ア 8月上旬までに収穫するほ場では、穂揃期と穂揃期後7日目の2回の防除を徹底してください。
- イ 8月中旬以降に収穫するほ場では、穂揃期の防除を徹底してください。
- ウ 粒剤の場合は、収穫期に遅れないよう散布してください。
- エ 防除薬剤は表(平成28年山口県農作物病虫害・雑草防除指導基準)を参照してください。

3 防除上の留意事項

(1) 防除時期

- ア 薬剤散布後もカメムシ類の発生がみられる場合は、さらに7日後に追加の防除を行ってください。
- イ アカスジカスミカメは収穫後早い時期に玄米の頂部を吸汁し、籾摺り後も被害粒(技術資料6号写真参照)として残ることが多いので、これまでアカスジカスミカメによると思われる被害がみられたほ場は、穂揃期の適期防除に努めてください。
- ウ 粒剤はアカスジカスミカメ等小型のカメムシ類には効果がありますが、クモヘリカメムシ等大型のカメムシ類には効果が低いので留意してください。
- エ 畦畔等の草刈りを水稻の出穂直前や収穫後に行うと斑点米カメムシ類の水稻への移動を助長しますので、草刈りは収穫の2週間前までに済ませてください。